

## 1月行事予定

- ◇第32回市民文化親交会 7日(日) 午後1時 市民センター大ホール ほか
- ◇成人式 8日(日)午後2時 市民センター大ホール
- ◇市交通指導隊初点検 9日(月)午後2時 あえりあ遠野中ホール
- ◇市防犯隊初点検 9日(月)午後3時 あえりあ遠野中ホール
- ◇スポーツリーダー養成塾 14日(土)午後1時15分 あえりあ遠野中ホール
- ◇第23回清養園氷上まつり 29日(日)午前9時 清養園スケート場
- ◇地域で子どもを育てる活動発表会 29日(日)午後1時30分 あえりあ遠野交流ホール
- ◇教育委員会定例会 31日(火)午後1時30分 市民センター第2会議室

## シリーズ 2

### 虫の世界 ミツバチ科 クマバチ



春にフジの花の近くで一定の場所を往復飛行しているクマバチをよく見掛けます。ズングリした大型のハチ(体長約23mm)で、背中だけが黄色く、ほかは真っ黒いハチです。アシナガバチやスズメバチのように集団で生活しません。太い枯れ木や軒などに穴を掘り、

一部屋仕切りの巣を作って花粉や蜜などで子育てをします。満開のフジ棚を見つけたら、一生懸命に働くクマバチを楽しんでください。  
◎分布 日本全土  
原色昆虫図鑑(小学館)(新町・時田克夫)

二〇〇〇年七月  
新町で撮影

## 図書館・博物館だより

☎ 62-2340

### ◆新着図書

- ◆一般向け
  - ▽夜市(恒川光太郎)▽蝶舞う館(船戸与一)▽亡命者(大沢在昌)▽海賊モア船長の憂鬱(多島斗志之)▽フエティツシユ(西沢保彦)▽100回泣くこと(中村航)▽王城の忍者(南原幹雄)▽かんじき飛脚(山本一力)▽新リア王(高村薫)▽闇夜の国から二人で舟を出す(小池真理子)
- ◆子ども向け
  - ▽国会議事堂大図鑑(PHP研究所)▽アカメアマガエル(ジョイ・カウリー)▽深夜のゆうれい電車(斉藤洋)▽まいごのマイロ(大島妙子)▽おくりものはナンモナイ(パトリック・マクドネル)▽ちいさなサンタまちにいく(アヌ・ストーナー)▽がんばれヘラクレス(ハーディー・グラマトキー)

### ◆催し物案内

- ◆読み聞かせ講習会▽1月21日(土)午後1時50分▽とびあ2階研修室▽講師 盛岡うれし野こども図書館

### ◆図書館の開館時間を延長します

- ▽3月末までの毎週金曜日、開館時間を1時間延長し、午後6時まで開館します。

### ◆寄贈者(敬称略)

- ▽登坂慶子▽鈴木南水▽石直ミヤ子

### ◆休館日

- ▽図書館・博物館 16日、23日、28日、31日、2月6日



「もぐもぐとんねる」  
しらたにゆきこ 著

一人ですぐ掘り始めたモグラのもぐもぐ。おうちに帰るつもりが、変な所に着いちゃった。さて、もぐもぐは一人でおうちまでたどり着けるのでしょうか?



「シャネル」  
藤本ひとみ 著

### ◆一般向け



修道院で育ち、自らの努力でファッション界の女王へ。世界中の女性の憧れとなったココ・シャネルの恋と波瀾に満ちた生涯を、豊富なエピソードで書き下ろした一冊。

### ◆子ども向け

## ふるさと村の曲り家・直屋を登録文化財に指定



旧菊池サイ家(現「弥十郎どん」)

国の文化財保護審議会は十一月十八日、遠野ふるさと村にある茅葺屋根の建物二棟を国の登録有形文化財に指定するよう文部科学大臣に答申しました。文化財登録制度は古きよき建造物を活用しながら保存するために作られた国の新しい制度です。従来の文化財指定制度に比べ、考え方や諸規制がゆるやかになっていきます。登録の対象となるのは、建築後五十年を経過した建造物で、広く親し



旧菊池喜右工門家(現「こびるの家」)

まれていたり、そこで見ることのできない珍しい形をしているものなどです。今回答申されたのは、遠野ふるさと村に移築した旧菊池喜右工門家(現「こびるの家」一七六二年建築)と旧菊池サイ家(現「弥十郎どん」一八二二年建築)の二棟です。旧菊池喜右工門家は、江戸時代中期を代表する民家で、開口部の少ない大壁造り、芝棟に石場建て(礎石の上に柱を直接建てる形式)が特徴です。旧菊池サイ家は、江戸時代後期に曲り家が次第に大型化していく過程が分かる貴重な曲り家です。どちらも遠野地域の農家建築の特徴をよく残しており、現在はそば打ち体験や食事処として保存活用されています。

## 氷口御祝を市指定無形文化財に指定

市文化財保護審議会(時田克夫会長)は十一月二十九日、小友町氷口地区に伝わる氷口御祝を市無形文化財に、氷口御祝保存会(菊池榮一会長)を保持団体に指定するよう市教育委員会に答申しました。氷口御祝は、披露宴や新築祝いなど祝いの席で祝宴に先立ち歌われます。「謡曲」は男声、「まがき節」は女声と、旋律の異なる歌を同時に歌い同時に終わる構成となっており、不調和音の調和という特異な組曲です。氷口地区では、少なくとも明治以来百年余りの間集落ぐるみで受け継がれ、今も祝いで披露されています。かつては近隣の江刺、和賀、上閉伊地方でも歌われていましたが、現在まで伝承しているのは氷口御祝だけとなりました。

県内のほかの地域には伝承されていない特有の芸能として高く評価され、無形民俗文化財に指定して長く保存継承することが望ましいことから今回の指定となりました。氷口御祝保存会は、平成三年に国立劇場で開かれた「アジア太平洋うたとおどりの祭典」へ



「東京の夏音楽祭2005」に出演した氷口御祝保存会の皆さん

の出演をきっかけに結成され、現在二十人で活動しています。昨年の夏に東京で開かれた音楽祭に招待されたほか、日ごろの伝承活動が評価され第五十八回岩手日報文化賞を受賞するなど、積極的な活動を展開しています。

## 市長 ひろひら

「想い」は一つでした

新遠野市がスタートし三カ月が経過しました。昨年十二月中旬に「市長と語る会」を市内十一地区で開催しました。旧遠野市長として開催していた手法で行いましたが、新市スタートというタイミングです。ので、懇談の冒頭にわたしの新市まちづくりへの想いを述べさせていただきました。宮守町の各地区の皆さんとは初めての懇談でしたが、地域への熱い思いや愛着、わたしへの期待と厳しくも温かい激励の言葉をいただきました。

「言いつ放し」「聞きつ放し」ではないのが「市長と語る会」であるという原点を忘れずに、職員とともに気持ちを一つに対応していきたいと思っています。今年新市まちづくりの本格的なスタートの年です。皆さんとわたしの新市まちづくりへの「想い」は一つでした。全国七百七十七市と、地域づくりにおける連携と興味での競争に打って出しましょう。(本田敏秋)